

## 令和2年度 公民館の重点方針・事業について

1 公民館名 中央 公民館

### 2 重点方針

1. 各地域公民館の相談役となるよう中央公民館が役割を担う。
2. 「公民館友の会」を中心として利用者との協働による公民館の運営を目指す。
3. 生きがいのある人生を送るため、生涯学び続けるための場・機会・情報を提供する。
4. まちづくり人づくりの拠点となるよう、地域の居場所としての機能を充実させる。
5. 未来を切り拓く子どもたちの健全な成長を推進する。

重点事業	事業名	ねらい	概要	特記事項等
生涯学習	地域づくり学習	“学び、活かす市民づくり”を実現するための学習機会を提供する。	<ul style="list-style-type: none"> <li>・「熟年大学」「女性大学」で、日常生活の中にある課題について学ぶ。併せて受講生同士の交流で仲間づくりを図る。</li> <li>・「乳幼児学級」で、幼い子どもを持つ母親同士の交流の場を作り、社会での孤立を防ぐ。母親としての視点で自らの学びを啓発する。</li> <li>・地域づくり型学習学習講座である【地域の絆づくり講座】を10講座開催して、公民館を拠点とした地域づくりを進める。</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・新講座として、地域の魅力再発見『私たちの西地域を学ぼう』を開催。中央公民館エリアの中津西地域をとりあげた初の講座。内容としては、昨年3月に「中津西地域『歴史と文化』次世代伝承委員会」が発行された『私たちの西地域』(地域学習資料)をテキストに中津地区西地域を改めて学ぶ。</li> <li>・新講座として、地域の魅力再発見『中津川を想いふるさとを歌おう』</li> <li>・新講座として、地域の魅力再発見『終活・エンディングノートとしての自分史講座』を開催。</li> </ul>
	健康づくり講座	生涯にわたって健康でいきいきと暮らしていける学習機会を提供する。	<ul style="list-style-type: none"> <li>・「体を動かす」「食事に注意する」「認知症を予防する」など「8万人のヘルスアップ」の一端を担えるような講座を開く。</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・現在、利用者は年配の女性が多いことから、男性や若い世代の利用者が増える講座を企画、実施する。『男の居～場所 人生の楽しみ方教えます』(健康マージャン)(新講座)を開催。</li> <li>・講座企画委員会の企画から生まれた講座『ドローンの仕組みと魅力を学ぼう』、『スマホで写真機能を使って生活をしよう』を開催。</li> </ul>
	文化・教養講座	“いきいきとした人づくり”を実現するための学習機会を提供する。	<ul style="list-style-type: none"> <li>・これまで継続してきた各種講座に加え、利用者にも参加していただいた「講座企画委員会」の企画による利用者が学びたい講座を開く。</li> </ul>	
	青少年健全育成推進	次代を担う青少年が心豊かでたくましく自立するために、地域・学校・PTAと連携し活動する。	<ul style="list-style-type: none"> <li>・夜間巡回補導活動の実施、また「地域のおじさんおばさん運動」を推進し子どもの安全を守る。</li> <li>・各地域での子どもの活動を支援する。</li> <li>・視聴覚クラブの協力により地域巡回型「夏休み地域映画会」を開催する。</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・夏休み期間中『夏休み子ども講座』を数講座開催し、学びの機会をふやす。</li> </ul>
文化	中央公民館まつり	1年間の学習成果発表の場、また、利用団体間の交流の場として開催する。	<ul style="list-style-type: none"> <li>・利用者団体「中央公民館友の会」を中心とする実行委員会により運営を行う。</li> <li>・展示、ステージ、囲碁、バザー、ガレージセールなど多彩な部門それぞれが、日ごろの成果や活動内容を発表する。</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・令和元年度は新型コロナウイルス感染拡大防止のため中止した経緯がある。仕切り直して、第40回の節目の開催年とする。</li> <li>「友の会」と協働で行っていて、利用者の発表の場としても大切な柱となる事業である。</li> </ul>
スポーツ	学校施設開放受付	社会体育の振興を図るため学校施設を借りて開放する窓口となる。	<ul style="list-style-type: none"> <li>・中津地区内5校との連絡を密にし、学校行事に支障のないよう利用者へ貸し出しをする。</li> <li>・第二中学校、南小学校、西小学校の各施設の鍵貸し出し業務を行う。</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・中津地区5校を受付しているが、使用頻度はほぼ飽和状態であり、新規利用者の活用が課題である。</li> </ul>
	スポーツ団体の公民館利用の促進	スポーツ団体が集まれる場所としての居場所づくりを目指す。	令和2年度市民大学講座をスポーツ関係の講師のラインナップで行う。	<ul style="list-style-type: none"> <li>・当館はスポーツ振興事業が脆弱なため、第一歩としての位置づけで行う。</li> </ul>
運営	利用者との協働	開かれた公民館となるよう利用者との協働で運営を考える。	<ul style="list-style-type: none"> <li>・地域公民館運営委員会の開催(令和元年度設置。)</li> <li>・利用者懇談会を開催する。</li> <li>・公民館講座等の企画委員会を作り、利用者の声を直接運営に活かす。</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・「友の会」の会員は、中央公民館を利用して定期的に学習を行っている 社会教育関係団体(講座・サークル等)及びその会員で構成しているため、協働する大きな柱となる組織である。</li> <li>・「友の会」役員を主とした構成メンバーで、『地域公民館運営委員会』を昨年度設置。運営の評価も行ってもらう。</li> </ul>
	公民館活動のPR	中央公民館がたくさんの方の“学びの場”であることをPRする。	<ul style="list-style-type: none"> <li>・中央公民館を活動拠点にしているサークルを広く紹介し、活動の継続につなげる。</li> <li>・「何かを始めたい」と思う方にたくさんの情報を素早く提供する。</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・サークル活動の一環として、ロビーコンサートやロビーの小展示、六斎市への出演などサークルの出番を増やし、利用促進につなげる。</li> <li>・サークルPRの掲示板の活用、サークル募集、発表会のポスター掲示チラシの設置等活動PRの場をより多く提供する。</li> </ul>

## 令和2年度 公民館の重点方針・事業について

1 公民館名 苗木 公民館

### 2 重点方針

1. 「そうだ、公民館に行こう！」と提供いただける地域に身近な公民館づくり
2. 「**であい・まなび・つながる**」を支援します
3. まち協等まちづくり関係団体との**連携**による事業展開
4. 公民館に出かけられない人のために**出かけて**いきます

重点事業	事業名	ねらい	概要	特記事項等
生涯学習	教室・講座の開講	地域住民の学習要求に応える。仲間づくりへと発展させる。(サークル化)	地域の絆づくり講座(6講座)、健康づくり講座(2講座)、文化・教養講座(4講座)を開講。受講生の主体性を重視した運営を行う。	まちづくりをテーマにした講座を新規に開講する
	乳幼児学級ぴっころの開催	子育ての孤立化を防ぎ、仲間と子育ての楽しさを体験、学習	未就園児親子を対象に、地域の子育て世帯に呼びかけ、健康・安全・手遊びなどをテーマに学習・活動を行う。	
	出かける公民館講座の開講	公民館から遠方の地域の方へ学習機会を提供する。	希望する各区を会場に、主に健康づくり、歴史、福祉等をテーマに学習する。	
	青少年健全育成活動	青少年の健全な育成を目的に、地域の大人の青少年理解を深め、地域活動へと促す。	青少年健全育成推進市民会議苗木支部を中心に、地域の諸団体との連携を進め、補導、見守り活動、読み聞かせ活動等を行う。	
	交流スペース活用	区民の読書推進および交流、諸活動の場として開放	図書館との連携により、区民が気軽に図書に触れる機会をつくるとともに、ほっとしよくらぶを中心に活動の発表の場、学びの場として活用する。	交流スペースの活用について検討会を開催する
文化	第5回苗木文化交流まつり	地域の文化・芸能活動の発表の場として開催	2020年2月22、23日に作品展示、ステージ発表、出店のバザー等で公民館使活動、地域活動の発表と交流の機会として開催する。	まち協教育・文化部会が主となり実行委員会を組織
スポーツ	苗木体育協会活動の支援	地域住民の一人一スポーツ活動を推進するための各種大会を実施	6月 ソフトボール大会、ソフトバレーボール大会、7月 バレーボール大会、8月 野球大会、10月 軽スポーツ講習会、11月 健康マラソン大会、1月 親子スケート体験等を実施	
	学校施設開放事業	学校施設の開放を行い、地域スポーツ活動を支援	苗木小学校・苗木中学校の体育館、グラウンドを開放し、クラブ活動、区民のスポーツ活動の推進を図る。	
運営	公民館運営委員会の開催	地域住民の声を運営・事業に生かすための審議を行う	地域、公民館利用者等の代表者で構成事業や運営に対しての意見交換等を行う	令和元年度公民館事業の評価を実施
	利用者等懇談会の開催	利用者等と職員の意見交流を行い、運営・事業に生かしていく	利用者の声を聞く機会と同時に、公民館の思いなども説明し、今後の運営・事業を充実させていく機会として開催する	年末には利用団体参加による大掃除を実施
	「交流センターだより」の発行	まち協・公民館の情報提供	まち協・公民館の活動の情報提供 苗木通信との連携による紙面づくり	

## 令和2年度 公民館の重点方針・事業について

1 公民館名 坂本 公民館

### 2 重点方針

1. 公民館は、生涯学習の拠点施設として、地域の特性を生かした活動を重視し、その活動がいつそう充実するための連携や必要に応じた援助を行う。
2. 家庭教育学級の充実のため、子ども学習教室、サークルの開催を支援するとともにリーダーを育成し、将来を担う子どもを皆で育てる環境の醸成に努める。
3. 青少年健全育成推進坂本支部と見守り隊などの子どもに関わる団体の連携を図り、青少年の健全育成支援と安心安全な環境づくりの推進に努める。
4. 生涯スポーツ・レクリエーション活動の普及と充実を図るとともに坂本体育協会等関係団体との連携を強化し、地域住民の健康の維持・体力づくりを推進する。
5. 伝統文化の保存継承と文化財等の地域資源の活用を関係団体と連携し推進する。

重点事業	事業名	ねらい	概要	特記事項等
生涯学習	公民館講座の開設	住民の身近な学習や交流の場として生きがいづくりを支援し、地域づくり、人づくりの推進を図る。	趣味の教室や市民の生活に身近な課題をテーマに講座を開講し、人と人のつながりや、地域づくりボランティア活動への契機としていく。	市民の生涯学びたい気持ちを応援する。
	高齢者大学 「はなのき大学」	高齢者が元気よく、いきいきと暮らせるように、また積極的に社会参加できるように支援する。	市内外の講師を招き健康・歴史等の講話開催する。大好評の社会見学と歩け歩け大会は老人クラブのイベントと重ならないように企画していく。また自主サークルのカラオケ、民謡クラブなどを組織する。	受講生の活動記録を掲載した文集を発行する。
	青少年健全育成推進	市内で一番のマンモス小学校を抱える坂本地区として子ども会活動を支援しながら、人や地域を愛せる心を育む活動を目指す。	7月の社明大会、夏休み期間中の夜間パトロール活動、11月の子ども若者育成支援強調月間での独自の取り組み、1月の「家庭の日」の取り組みを推進する。	子ども会の親子行事に元気キッズ事業を活用する。
	図書コーナー	生涯にわたって学び、創造し、充実する人生を応援する。	情報サービス提供機能を強化するため、中央図書館と連携しニーズのある図書を提供する。	四季折々のイベントを飾り付けて利用しやすい環境を整える。
文化	第45回公民館まつり	サークル・講座の利用者が活動した成果を広く区民に発表する場を提供し、学習意欲の向上を図るとともに、生涯学習の重要性を啓蒙し、地域力の向上を図る。	サークル・講座の利用者が実施主体となって、企画立案し、ステージ発表会と作品展示会を開催する。	地域の団体である「飛翔の里」の合唱団等を招き、来場者と交流する。
スポーツ	第49回区民運動会 各種スポーツ大会 各種スポーツ教室	スポーツを通して区民の健康の維持、体力づくりへの関心を深め、地域住民相互の交流と親睦を図る。	坂本体育協会を実施主体とし、各地区から選出された体育委員を中心に区民運動会、ソフトボール大会等を開催する。また学校施設等を利用して、スポーツ教室を年間を通して開催する。	坂本体育協会が中心となって自主的に企画・運営が出来るように連携を図る。
運営	公民館運営審議委員会	公民館の管理や運営に対して充実を図る。	今日の激しい社会構造の変化の中で、市民の多様化・高度化する学習ニーズや生涯学習社会の進展等の新たな状況が生じている。その変化に対応する社会教育、公民館の在り方について意見を伺い反映させる。	社会教育委員等で組織する。

## 令和2年度 公民館の重点方針・事業について

1 公民館名 落合 公民館

### 2 重点方針

1. 地域の人々の交流拠点として幅広い年代に学習の機会と居場所を提供するとともに、地域の各団体と連携して地域力を高めるため支援する。
2. 家庭教育及び青少年健全育成の充実のために、学校、家庭、地域と協働し子どもたちが安心して心豊かに育つ環境づくりを推進する。
3. 地域の芸能文化振興を深める機会の提供とともに、歴史文化資源の活用を努める。
4. 生涯スポーツ、健康づくりに取り組み、誰もが健康で安心して心豊かに暮らせる地域づくりを進める。

重点事業	事業名	ねらい	概要
生涯学習	公民館講座	地域の方が自主的に学ぶ意識を高揚させるとともに、仲間づくり、生活と健康の増進を図る	年間を通し各種教室・講座を開講 ・女性大学、子ども(親子)で参加できる講座 ・健康体操、ヨガ、太極拳、パソコン、ベビーヨガ
	キッズクラブ(乳幼児学級)	子育て中の親を対象に、仲間づくり・子育て・遊びなどを通して家庭教育の向上を図る 少子化社会の中で地域で子育てを支援する環境づくりを創出する	0～3歳児と親を対象に、季節の行事や遊びと学び(親子の関係・あいさつ・行動・躰など)を組み合わせ、毎月1回1年間を通して自主的な活動運営を高める
	青少年健全育成活動	青少年の健全な育成を目的に、地域の大人の青少年理解を深め、地域活動へと促す	青少年健全育成推進市民会議落合支部を中心に、地域の諸団体との連携を進め、補導、見守り活動、三世代交流事業等を行う。
	コミュニティルーム活用(図書ルーム)	区民の読書推進および交流、諸活動の場として開放	図書館との連携により、区民が気軽に図書に触れる機会をつくり、学びの場として活用する。 だれでも気軽に利用できるスペースにする
文化	落合公民館まつり	落合公民館利用者の成果発表の場、かつ落合地域全ての方の芸能文化の発表及び交流の場とする	ステージ発表と作品展示会の2部構成。 併せて地域の方による出店のバザー等で子供からお年寄りまで誰からも親しまれるまつりとして開催する
	落合宿本陣を中心とした文化と観光の振興	歴史文化資源の活用	落合宿保存整備と併せて観光拠点づくりに歴史文化資源の活用を図る
スポーツ	生涯スポーツ、健康づくりの推進	地域住民の健康維持・増進と仲間作りを支援する	誰もが健康で安心して心豊かに暮らせる地域づくりを進める
	学校施設開放事業	学校施設の開放を行い、地域スポーツ活動を支援	落合小学校・落合中学校の体育館、グラウンドを開放し、クラブ活動、区民のスポーツ活動の推進を図る
運営	公民館運営委員会	日頃の公民館利用者の声を受けとめ、公民館の管理・運営に活かす	委員会の設置をめざす

--

特記事項等

--

--

--

--

--

--

--

## 令和2年度 公民館の重点方針・事業について

1 公民館名 阿木 公民館

2 重点方針

1. 新しい公民館を拠点に地域住民の日常的な学習活動の場として、地域づくり・人づくり・生涯学習の拠点となる公民館を目指します。
2. 家庭教育の充実のため子育てサークル等団体を支援する。
3. 地域ぐるみの青少年の健全な育成として、安心安全な環境づくりの推進に努める。
4. 生涯スポーツ・レクリエーション活動の充実を図るとともに、健康で心豊かな地域づくりを行うため関係団体と連携を強化する。

3 重点事業	事業名	ねらい	概要	特記事項等
生涯学習	公民館講座	学習や交流をとおして人と人とのつながりや地域づくり・生きがいづくりへつなげる。	年間を通して各種教室・講座の開講(各2回～6回) フラダンス教室、ウォーキング教室、布ぞうり教室 花の里大学、つまみ細工教室	地域住民の意向を把握し、地域づくり・健康づくりとなる講座を開設する。
	乳幼児学級 【未就園児と保護者】	子育てに関する学習や遊びから親子の交流を深め、仲間づくりや家庭教育の向上を図る。	乳幼児学級では、全ての対象者が家庭教育の場に集い、交流できるよう取り組む。(6月～3月 7回開催) 乳幼児支援センターあぎっこくらぶ そばのみへの支援。	会員同士の交流を深め、互いに子育てを助け合う体制作りを支援する。
	みちくさ教室 (阿木子ども公民館)	子どもたちの様々な体験、学習、交流をとおして健全な育ちを支えると共に、子どもと公民館との関わりを深める。	ものづくり、体験教室、防災教室、体験をとおして作法を身に着けたり、地域の大人との三世代交流などを行う。 放課後居場所作りでみちくさフェスタ等を開催するほか地域事情に合わせた支援をしていく。	青少年阿木支部、阿木地区社協、ふるさと福祉村の児童サロンとも連携して実施する。
	青少年健全育成推進	小・中学校や地域と連携し青少年の育成活動を推進する。 子どもの放課後居場所づくりを行い安全を図る。	区長会、地域の役員、老人クラブと連携しながら三世代交流事業を行う。 子どもたちが放課後等に安心して過ごせる居場所づくりを整備する。	地域には学童や児童センターもないため子どもの放課後の安全な環境を整える。
	図書展示コーナー	地域の方が気軽に立寄り集える場所にする。	中津川市図書館と連携し児童図書の充実を図り、利用者の声を反映させる。	住民の憩いの場所とする。
文化	阿木文化祭(展示・ステージ発表会)	地域の文化振興と住民の意識の向上を図る。	日頃の活動を発表する場として、12月に、書道、俳句、華道などのほか保育園、小・中学校の児童・生徒の作品を展示する。また、同時に民謡や琴、カラオケなどのステージ発表を行う。	阿木文化連盟や公民館を活動拠点とする団体と連携・協力して事業を推進する。
スポーツ	スポーツ大会 スポーツ教室・健康づくり	阿木地域の住民(子どもからお年寄りまで)の健康増進、体力向上、親睦を図る。	阿木区民運動会・ノルディックウォーキング・スケート教室・新春マラソンの運営を行う体育協会の支援を行う。	阿木体育協会との連携・協力
運営	公民館運営委員会	公民館の運営、事業に地域住民の声を生かし充実を図る。	地域の声・利用者の声を反映させる為に、公民館運営委員会を開催し意見交換を行う。	公民館評価制度の研修

## 令和2年度 公民館の重点方針・事業について

1 公民館名 神坂 公民館

### 2 重点方針

- 1、生涯学習の推進・・・地域住民に学習機会の提供や交流の場として、地域の特性を活かしながら各種講座を開講する。
- 2、青少年健全育成の推進・・・家庭・地域・学校が連携し、子ども達が安全で安心して育つことができる地域づくりを支援する。
- 3、神坂地区住民の絆の強化・・・様々な機会を通じて神坂・馬籠地域住民の交流を支援し、絆の強化を図る。
- 4、公民館の運営・施設の充実・・・公民館運営委員会の意見を取入れ、地域住民の学びの場として利用しやすい施設・運営方法の充実を図る。
- 5、スポーツの推進・・・体協と協力し、スポーツを通じて学校・地域との親睦を深める。
- 6、読書活動の推進・・・図書コーナーを充実させ、読書活動の推進を図る。

重点事業	事業名	ねらい	概要	特記事項等
生涯学習	公民館講座	仲間づくりや健康づくり、学習の場をとおり、豊かな生き方に結び付ける	多くの地域住民が気軽に参加できる、学習機会と仲間づくりの場を提供する。	
	高齢者大学「ぬく森大学」	学習の機会を提供するとともに、交流と生きがいづくりを支援する。	健康で生きがいのある生活を目指して、教養・趣味など仲間と一緒に取り組みます。	
	乳幼児学級「わんぱくらぶ」	子育ての仲間づくりと親子の学び場づくりを支援する。	読み聞かせ・子育て講話・リズム体操・遠足等	
	青少年健全育成推進	様々な体験活動等とおして、青少年健全育成の強化を図る。	親子クリーンキャンペーン(環境美化空き缶拾い)&マスカみ、かるたとり大会等	
文化	ふるさと神坂総合文化祭	学校・地域住民の日頃の成果の発表や、地域住民の交流を図る。	幼・小・中学校と神坂地区(神坂・馬籠地域)住民の合同参加による作品展示とステージ発表。	
スポーツ	神坂学校・地域親善大運動会	学校と地区住民と地区団体が一体となりスポーツで親睦を深める支援をする。	幼・小・中学校と神坂地区(神坂・馬籠地域)・消防団・老人クラブ等が参加し、地域全体として運動会を開催。	
	親子スキー教室	親子・地域の絆を深め、楽しみながらスキーを体験・習得する。	体育協会神坂支部と協力して、神坂地区(神坂・馬籠)の親子を対象にスキー教室を開催。	
運営	調整会議	学校・地区・各団体の行事が重複しないようにする。	幼・小・中学校・地区(神坂・馬籠地域)・各種団体による主要スケジュールの調整	
	公民館運営委員会	公民館のより利用しやすい施設の運営・充実を図る。	令和元年度にできた公民館運営委員会を開催し、より利用しやすい施設運営・充実を図る。	
	広報みさか発行	地区内の情報提供と、公民館活動の理解を深める。	毎月1回 神坂地区の情報提供 全戸配布	
	乳幼児図書コーナーと地元ゆかりの文豪等についての紹介	読み聞かせを通じて親子のふれあいを深める。又、地元ゆかりの文豪・童話作家の作品等について地域住民に伝える。	事務所の一室を図書コーナーとし、乳幼児の絵本・紙芝居等を設置。貸出等にも対応。 又、神坂地区出身の文豪「島崎藤村」と地元ゆかりの童話作家「宮口しづえ」の図書コーナーを設置する	

## 令和2年度 公民館の重点方針・事業について

1 公民館名 山口 公民館

### 2 重点方針

1. 地域の住民が気軽に集うことのできる公民館、地域づくり・人づくり・生涯学習の拠点となる公民館を目指します。
2. 地域の子供は地域で守り育てる、青少年が健やかに育ち自律できる環境づくりに努めます。
3. 地域における活動や人材を結びつける活動を通し、活気のある楽しいまちづくりに取り組みます。

3 重点事業	事業名	ねらい	概要	特記事項等
生涯学習	地域づくり学習	子どもからお年寄りまでの居場所づくりと、より質の高い、幅広い学習可能な機会を提供する。	「おとひめ大学」の講座を通し受講生(熟年者)がお互いの交流を深めながら居場所づくりと、生きがいを見つけられるような講座を開設。 「乳幼児学級」にて親子のふれあいとママ友の輪を広げながら子育てを面白く学習する。地域における身近な課題の解決に向けた講座を開設する。	熟年者講座は「生きがい」から「おとひめ」と改名し新規の参加者を公募する。 やさか地域(山口、坂下、川上)での合同講座を開催する。
	健康づくり講座	健康が一番 生涯健康でイキイキとした生活を送るための支援をする。	「ウォーキング」「体操」「ヨガ」「脳トレ」など、自分に合った選べる健康講座を多種開講する。	8万人ヘルスアップに繋ぐ参加者を募る。
	文化・教養講座	知識・技術・趣味を取得し感性を高めることで自身の充実したライフワークに繋げる。	音楽、教養、技術に関する講座を開設、趣味と娯楽を共存させた楽しい環境を提供する。	楽しく学んでもらえることを重視、無関心層の取り込みを狙う。
	青少年健全育成の推進	山口の地域性(少子高齢)を考慮しながら、地域の団体と連携し地域ぐるみで子供たちの育成を推進する。	まち協、地区社協、学校、PTA、老人クラブなど地域の団体と連携を密にし、子供たちの育成に努める。 「危険場所調査」「街頭啓発」「教育の集い」などの活動に参加。 子ども達の夏休みには世代間交流事業を開催する。	「地域のおじさんおばさん運動」を推進する。 関係する団体との協働事業で相乗効果を発揮。
読書	図書の充実	児童図書を充実させることで、子どもたちに教養と人づくりに繋げる場所を提供する。	「図書まつり」を開催し、本に触れ図書に興味を持ってもらう場を提供する(ボランティア参加)。幼稚園、小学校への「出前図書」を継続、季節・流行・年代層別などニーズに沿った図書を定期的に配本する。	アンケートを実施しながら子どもたち、先生、保護者のニーズを把握し更新していく。
文化	地域文化の振興	地域の文化・芸能活動を支援することにより住民の伝統文化の意識を向上させる。	山口地区の芸能祭開催に向け支援する。 小学生の太鼓演奏、子ども達の作品を展示公開、地域住民の作品展示、サークル活動の発表、三世代が募り交流ができる場を提供する。	山口の伝統文化を守り伝承していく。
スポーツ	地域住民のスポーツ活動	スポーツにふれる機会を提供することで地域住民の交流と継続可能な健康づくりを図る。	山口体育協会と連携し、ウォーキング講座、スキー・スノーボード教室、卓球教室など子供から大人まで気軽に参加できる運動活動を支援する。	健康づくりの活動に、より多くの参加を目指すべく無関心層に呼びかける。
運営	公民館運営委員会	公民館の管理・運営を円滑にする。 公民館活動の活性化を図る。 地域の拠点となる公民館を目指す。	公民館の利用者を中心としたメンバーで、年2回の会議を実施する。 委員の声を聞きながら時勢・地域性を考慮し、新たな環境を創りだすこと。 地域のニーズに沿った企画、住民が楽しく参加できる仕組みをつくる。	地域の住民・地域の団体との連携と情報の共有が不可欠。



## 令和2年度 公民館の重点方針・事業について

1 公民館名 坂 下 公民館

### 2 重点方針

Community Learning Center of the people , by the people , for the people .  
 1. 人づくり・・・地域の人材を発掘・活用しながら楽しくておもしろい公民館講座等を開催し、次代を担う地域リーダーの育成を図る。  
 2. 絆づくり・・・親子の仲間づくりに重点を置いた乳幼児学級・子育て学習等を推進し、地域の教育力の向上と人々の絆の強化を図る。  
 3. 地域づくり・・・やさか地区関係諸団体との連携による青少年健全育成の推進を図る。地域連携強化による公民館活動、スポーツ事業を推進する。

重点事業	事業名	ねらい	概要	特記事項等
生涯学習	乳幼児学級(ほほえみ教室)	就学前の親子を対象に、子育てを通じた仲間づくりと学習・情報の交換を行い、家庭の教育力を高める。	月一回の定例学級と班活動により、乳幼児期からの家庭教育の支援と学習の場、仲間づくりの場の提供を行う。やさか地区合同の乳幼児学級も三回程度設定する。	保護者の独創的な発想を大切にすると同時に、地域の人材を積極的に活用し世代間交流を図る。また、地域間の交流も図る。
	公民館講座の開催	若年層から高齢者まで学習機会と仲間作りの場を提供し、地域づくり・ボランティア活動へのきっかけを作っていく。	楽しくておもしろい講座での学習や体験を通して個々の能力の向上と活用を図り、世代間交流を深める。講座受講者が新たな指導者となって活躍できる動機づけにする。	令和元年度並の講座数を予定。アンケートをもとに、地域人材の発掘とそれを活用した独創的な講座の設定に努める。
	やさか合同講座 (文化歴史散歩・ふれあい茶道教室・わくわく体験クラブ)	やさか地域の小中高生・保護者・地域住民が体験・制作活動を通して交流を深める。	地域の自然・歴史・文化に触れ、創作活動・科学実験等の各種体験に挑戦する。	楽しくておもしろい多様な体験活動を設定する。やさか各地区の独創性を生かす。
	青少年健全育成活動	青少年の健全育成のために、啓発と実践活動を通して、地域ぐるみで子どもを育てる意識を高める。	危険個所の点検・街頭啓発活動、登下校の安全確保等の実施。子どもたち自身の企画・運営を大切にしたい楽しい活動(やさか子ども祭り)を追求する。読書活動の推進と図書への寄贈。	地区(10)ごとに委員選出、やさか地区合同での啓発活動を実施。「地域のおじさん・おばさん運動」の推進。
	教育のつどい・青少年健全育成推進大会	「やさかの子は、やさかで守り育てる」を合い言葉に、青少年の健全育成をめざして地域の諸団体の連携を図る。	園・学校・家庭・地域社会が情報を発信・共有しあい、青少年に関わる一貫した取り組みを行う。様々な活動を通して意思統一を行う。	10月31日予定、やさか地区小中学校授業参観、吹奏楽演奏会などの予定。
	図書室まつりの開催	子ども達の読書への興味と関心を高め、豊かな心を育む。	公民館図書室を知ってもらうきっかけづくりにしたり、本の楽しさ広げる企画を行う。	小中学校夏休み期間中を予定。ボランティアによる活動なども重視する。
	文化	「花馬まつり」(坂下)の保存・伝承	無形民俗文化財の保存と継承に努め、郷土愛護思想の高揚を図る。	「花馬まつり」の保存と継承に地域を挙げて取り組み、連帯意識の高揚を図る。毎年10月の第二日曜日に開催。
歴史・民俗資料の保存・伝承		地域に伝わる文化遺産の保存と継承を図る。	文化財保護団体と連携し、既存資料の記録・整理・保存に努め資料館を積極的に活用する。広報・宣伝活動を通して資料館来館者の増加を図る。	坂下民俗資料保存会と連携し、柁の蔵の整理、展示、維持、運営方法を考究する。
文化事業		文化祭・芸能祭・地歌舞伎の公演などを支援し、その継承と保存に努める。また、後継者の育成にも力を入れる。	年一回、文化祭・芸能祭を開催。歌舞伎公演会には、子ども歌舞伎の公演なども行い、後継者の育成を試みる。	10月に芸能祭、11月に文化祭・歌舞伎公演を予定。それぞれの団体が開催する活動をサポートする。
スポーツ	各種スポーツ大会の支援	スポーツを通して子どもから大人までのふれあいの場と健康づくりの場を提供し、スポーツに親しむ機会の充実を図る。	元旦走り初め大会・柁の湖ジョギング大会、各種駅伝大会、ソフトバレーボール・ビーチボール大会などの開催支援。	坂下総合体育館、やさかイキイキ倶楽部との連携強化に努める。
運営	公民館運営委員会	公民館等の管理や運営に利用者の声を活かす。	委員会・日ごろの公民館利用者・会議の機会などから、利用者の声を受け止め、公民館の管理や運営に活かす。	総合事務所・区長会・まちづくり協議会、保・小・中・高との連携強化に努める。

## 令和2年度 公民館の重点方針・事業について

1 公民館名 川上 公民館

### 2 重点方針

1. 家庭教育の充実
2. 青少年健全育成活動の推進
3. 公民館講座の充実
4. 文化スポーツ活動の支援

重点事業	事業名	ねらい	概要	特記事項等
生涯学習	乳幼児家庭教育学級	就園前の乳幼児を持つ親たちの自主学習・講座・情報交換を通じた仲間づくりを進める。	・月一回開催(やさか地区合同学級年2回含む) ・企画、進行等学級生が主体となって活動を行う。	保育園児・デイサービスセンターすずらん利用者との交流会
	公民館講座の開設	学習を通じて個々の能力の活動や世代間交流を図るとともにサークル化を目指す。	若年層から高齢者までの学習機会と仲間づくりの場を提供する。	もみじの里築校・手機蔵り・歴史講座・星空観察・水中運動・ノルディックウォーキング・ステップ・骨盤ヨガ・お菓子づくり
	青少年健全育成事業(川上)	関係団体や地域との連携を密にし、青少年健全育成を推進する。	支部連絡会を開催し、小中学校・警察・子供会等諸団体からの現状報告を聞いて対策を考える。	ふれあい登山・木工教室・郷土かるた大会
	青少年健全育成事業(やさか)	やさか地区が連携し、地域全体での青少年活動への意識向上を図る。	やさか地区の公民館が連携を取り合って、情報収集・会議運営・諸行事等の支援を行う。	やさか教育のつどい・わくわく体験くらぶ・夏休み子供まつり・文化歴史散歩・茶道教室
	青少年ボランティア参加促進事業	地域の一員として活躍できる場を提供し、ボランティア活動の成就感体験を図る。	公民館がつなぎ役となり、まち協・体協・文化協会・区長会等の事業に参加を求め、地域の大人と一緒に活動する。	区民運動会・文化芸能発表・夕森もみじまつり・防災訓練
	公民館図書室活動	住民に学びの場を提供し、図書室の利用拡大をさらに進める。	読み聞かせサークル「しゃぼん玉」の読み聞かせ・図書室まつりの実施、保育園・小学校・診療所との連携を強化する。	図書室まつりは年1回実施。本を参考にした工作等を入れる。
文化	文化活動の支援	地域の文化芸能活動の活性化を図る。	発表の機会を増やし、活動意欲を増加する。	文化協会の自立・文化祭
	文化財の発掘・保存	地域に現存する文化財の発掘・保護に努める。	収集した文化財を整理・保存してその価値を再認識する。	史料収集と整理。
スポーツ	区民運動会	スポーツを通じて老若男女が一堂に会し交流を深める。	体協が主導し、まち協を中心に区長会・間く体育推進員・当諸団体が協力して盛り上げる地域の一大イベント。	住民の半数が参加する。
	軽スポーツ大会	軽スポーツを通じて地域間・世代間交流の推進を図る。	ビーチボール大会、グランドゴルフ大会(春秋の2回)	主催は体育協会で青少年健全育成市民会議川上支部は協力する。
運営	公民館・図書室の運営	地域の特徴を生かした活動の活性化と地域住民の意見を大切にされた運営を進める。	公民館、図書室の利用者・会議の機会などから、利用者の声を受け止め、公民館の管理や運営に活かす。	総合事務所と公民館の連携の強化を図る。

## 令和2年度 公民館の重点方針・事業について

1 公民館名 加子母 公民館

### 2 重点方針

- 1.家庭教育力及び地域教育力を高めるために、関連する各組織がお互いに連携できる機会を提供し、支援する。(家庭教育)
- 2.青少年育成区民会議活動を充実し、子ども達が地域活動に参画し、体験を通して地域への愛着を醸成できる情報や機会を提供する。(青少年健全育成)
- 3.生涯学習活動を支援し、地域の人材発掘や街づくりに参画する市民活動の拠点づくりを推進する。(地域拠点活動)
- 4.スポーツ・レクリエーションや公民館講座を通じて地域の人々の健康を基礎とした人づくりを推進する。
- 5.伝統文化の継承を支援する。

重点事業	事業名	ねらい	概要	特記事項等
生涯学習	家庭教育推進(家庭教育)	幼児期の子どもを持つ親を中心に家庭教育に対する正しい知識を身につける。	乳幼児学級は学びの場を中心に展開し親育ちの支援を行う。また、自主運営を行っている子育てサークルの相談や指導を行い円滑な運営ができるようにする。	付知・東白川・白川地区との地域間交流を行う。
	加子母教育の日(家庭教育)	地域の教育力を高め、地域で子育てを目標に地域教育の継続・充実を支援する。	地域の人々が、地域のことを、地域の子どもたちに教育する。家庭・学校・地域が一体となって子どもの教育を実践する活動。	通常11月最終日曜日に開催。
	青少年健全育成事業	地域の中で小集会活動を充実し、地域全体で青少年健全育成を実践していく。	挨拶推進・安全安心・花づくり事業・各組織連携の合同会議を開催し、実践して行く。	10地区に青少年健全育成区民会議を区長中心に設置している。
	風起こし事業	明治座を核とした文化による地域づくりのため、地域の芸術文化向上、コミュニティー醸成、交流促進、全国への情報発信を図る。	明治座の通年開館を行うことにより、文化財の保護と、地場産業や観光事業を振興し地域の活性化を図るためのイベント等を創出する。	明治座クラシックコンサート、明治座アトリエンナーレ等 ※明治座クラシックコンサートは新型コロナウイルス感染症の拡大防止のため今年度中止。
	公民館講座	地域のニーズに適応した講座を開発し、地域の人々の知識や技能の習得、健康づくり等に貢献する。地域の人材発掘と活用を促進する。	受講者の多い講座や新規講座を通じて地域の人々の学習ニーズに応える。新たな講座、講師を開発し、地域の人材発掘を通じて地域活性化に貢献する。	気軽に講座を開講できる「お試し講座」を継続する。
	図書室の利用向上	総合事務所内に併設した図書室として、幅広い年齢層の利用を促すことにより読書活動を推進につなげる。	利用者にとって読みやすい場所及び充実した図書を提供することにより、利用者の増加を図る。また、定期的に図書室まつり等のイベントを実施する。	図書選書及び返却管理などは図書ボランティア「ひなたぼっこ」と共同で行っている。
文化	伝統芸能保存活動	地域の伝統芸能の保存と、次世代へ継承を行う。	歌舞伎・木遣り・獅子舞・さいとり刺し・獅子芝居等の伝統芸能の保存伝承を行う。子どもたちの参加を促し、後継者の育成を進める。	9月に明治座で歌舞伎公演、各区の神社祭典で獅子舞奉納等を行う。
	文化協会事業	地域住民の文化芸術思想の高揚と会員相互の研修と親睦を図る。	14の文化団体が構成し、成果の発表と各団体の交流を図るために文化祭を開催する。	10月に文化祭を開催予定。
	「史・民俗資料」の保存・伝承	地域ボランティアの力を借りて、地域史・民俗資料の整備・保存・伝承を図る。	「郷土館」を中心に加子母地域の古文書資料の整理、民俗資料の整理や展示を行い、保存及び伝承をする。尾張藩山守内木家の古文書の解説を進める。	「郷土館」は、地域ボランティアの協力により資料整備を継続中。山守内木家の古文書の解説を実施中。
スポーツ	スポーツ少年団活動	スポーツを通じて、子どもの健全育成を図る	4種目のスポーツ少年団を指導員と保護者で構成する育成会との連携を深め、子どもたちの健全育成を図る。	野球・剣道・弓道・スキーの4種目で小学1年～中学生を対象に団員募集し活動する。
	加子母体育協会事業	一般スポーツを普及し体力増進と健康増進を図る。体育協会が中心となり地区体育祭を開催し住民の親睦と健康増進を図る。	青少年に対し、スポ少と連携して強化を図るとともに、一般競技者の技術向上を図る。また、軽スポーツ等の普及に努め体力づくりの機会を増進する。地区体育祭は10地区対抗で開催し、スポーツを通じたコミュニティづくりを行う。	体育推進委員が活躍して普及している。また、体育祭は開催時は多くの住民が集まる加子母で最大の行事である。
運営	公民館・図書室の運営	公民館・図書室の管理や運営に利用者や運営委員の声を活かす。	公民館や図書室の利用者の意見を反映し、管理や運営に活かす。公民館運営委員による公民館活動の評価やアドバイスなど第三者による意見を反映させる。	担当者による自己評価、運営委員による評価を通じて改善に取り組む(中間・年間評価)。評価情報は住民に公開。

## 令和2年度 公民館の重点方針・事業について

1 公民館名 付 知 公民館

### 2 重点方針

1. 地域の人々の交流拠点として、幅広い年代層に学習の機会と場所を提供するとともに、地域づくり・人づくりの拠点として親しまれる施設
2. 家庭教育の充実のために地域の子育て支援団体と連携・協働し、子育て支援活動に取り組む。
3. 青少年の健全育成を推進するために、青少年健全育成付知支部の活動を強化するとともに、地域全体で子供を育てる事業を実施する。
4. 地域伝統芸能継承団体及び文化団体の活動支援を行うとともに、地域の文化財を後世に継承していくための文化財保護活動の支援に取り組み
5. 総合型スポーツクラブとの協働により生涯スポーツ活動を推進し、健康で豊かな人づくりを目指す。

重点事業	事業名	ねらい	概要
生涯学習	公民館講座	地域住民の学習や交流の場として生きがいづくりを支援し、地域づくり・人づくりの推進を図る。	地域づくり講座、文化スポーツ講座、夏・冬休みこども講座等各種講座を実施する。夏・冬休み子ども講座では、世代間交流や子どもの地域学習の場を提供する。
	青川フェニックス大学【高齢者大学】	高齢者の知識向上と生きがいづくりを目指し、仲間づくりと学習する機会を提供する。	大学の講座開講は運営委員会における自主運営で行い、学生の生涯学習、健康の維持・増進等を図る講座を開設する。今年度で23回目の開講となる。
	乳幼児学級	乳幼児とその親たちに家庭教育と情報交換の場を提供し、子育てのノウハウやコミュニケーション能力の向上を支援する。	未就園児の親子を対象に毎月1回開催し、季節行事や交流・講話等を実施し、家庭教育の学習と情報交換の場を提供する。
	青少年健全育成事業	地域団体と連携して青少年の健全育成と安全確保ができる活動の推進を図る。	夏休み夜間パトロール、危険箇所の点検、あいさつ運動、スポーツ少年団駅伝交流会、ハツラツウォーキング、付知町書き初め大会、児童版画コンクール、子ども会支援等の事業を実施する。
	図書室の利用促進	地域の方に親しまれ、便利で気軽に利用できる図書室を目指す。	①市民への情報提供：図書室だより、企画展示 ②地域連携事業（学校、NPOとの協働事業） ③利用者へのフォロー：図書検索、予約等 ④読み聞かせサークルの支援
文化	伝統芸能保存事業	地域の伝統芸能の普及と、次世代へ伝承できるよう支援する。	木曳音頭、翁舞、三輪神楽、おんぼい節などの伝統芸能を後世に正しく伝承するため、保存会と連携して、活動やイベント等への出演の支援を行う。
	文化祭事業	文化芸能活動を支援し、地域の文化振興と住民の文化意識の向上を図る。	文化協会が主催で、市民の文化活動の発表の場として催しており、作品展示と芸能発表を一緒に二日間かけて開催している。
	文化財保護事業	文化財を保存し後世へ継承していくとともに、普及・啓蒙活動を支援する。	文化財保存会を中心に、地域の文化財を保存・継承していくために、文化財の手入れや環境整備、中学生の見学会、ふるさと巡回ツアーの実施を支援する。
スポーツ	生涯スポーツ推進事業	スポーツを通して健康づくりと体力づくりへの関心を深め、子どもから高齢者までの健康増進と地域交流を図る。	総合型地域スポーツクラブとの協働により、各種スポーツ大会や教室等を開催するとともに、スポーツ少年団、体育協会のスポーツ活動を支援する。
運営	公民館運営委員会	地域の特色を活かした活動の活性化と、地域住民の意見を活かした運営を行う。	公民館運営委員会を開催し、その意見を公民館活動に反映させる。

	公民館の指定管理	まちづくり協議会が公民館と一体的に活動することで、住民の意向を的確に反映した公民館運営を行い、人づくり、地域づくりを通して地域の活性化	30年度から付知町まちづくり協議会が付知公民館の指定管理を実施している。公民館の設置目的、及び管理運営方針を十分に理解し、公民館活動の向上に努める。
--	----------	---	--

設の運営を目指す。

組む。

特記事項等

地域住民の意向を把握し、地域づくり・健康づくりとなる講座を開設する。

令和元年度・・・普通部7講座、専門部18講座受講者数延べ338人、うち卒業者延べ221人、皆勤者数59人

すくすくわくわくまあるいこころ、地域の託児ボランティアの協力を得て運営している。

区長会、PTA、学校、保護司、民生児童委員、更生保護女性会、各区推進委員等が連携して活動している。

学校、NPO、ボランティア団体との協働により公民館図書室の利用促進を図る。

後継者不足を解消するため学校との連携を進め、発表・交流の場を増やす。

令和元年度・・・文化協会34団体、協会員376人

文化財保存会が地域の史跡顕彰看板を設置。（10か所）

令和元年度実績・・・スポレク祭9種目、491人

公民館運営委員は町内の公民館を利用する各種団体から選出する。30年度町内全戸のアンケート実施した。



令和2年度 公民館の重点方針・事業について

1 公民館名 福岡 公民館

2 重点方針

1. 安全で安心して住むことのできる地域づくりの取組みを支援します。
2. 家庭、学校、地域、各種団体等と連携し「地域教育力」の向上に努めます。
3. 各施設を市民の居場所づくり、出番づくり、仲間づくりに活用します。
4. 伝統文化の継承と文化団体の育成を支援します。
5. 指定管理施設（公民館、常盤座）の管理と、活用による地域づくりに貢献します。

3 重点事業	事業名	ねらい	概要	特記事項等
生涯学習	各種講座の開催	学習の機会を提供するとともに、交流と生きがい作りを行う。	地域づくり、健康づくり及び文化教養講座を軸に多くの皆さんに参加していただける講座等を企画運営する。	講座終了後、参加者からアンケートを実施し、講座の充実を図っていく。
	乳幼児学級 (おひさま広場)	子育てに関わる学習や遊びから親・子同士の交流を深め、仲間づくりや家庭教育の向上をはかる。	学びながら親子のふれあい、親同士のふれあいをテーマに季節の行事や食育、講演など、月1回の本活動と月1回の自主活動を行い、様々な企画で開催する。	参加者の自主活動で行われ、リーダーを通して事前打ち合わせを行い、連携しながら運営していく。
	青少年健全育成推進活動	家庭、学校、地域が連携し、青少年の健全育成に努める。 福子連の自立と育成及び地域子ども会の自主的活動を推進する。	社明運動や各分会においての健全育成活動、補導活動を実施する。 福子連（福岡子ども会連絡協議会）主催のふるさとの宝ものがしの実施や子ども夏祭りinふくおかへの協力を行う。	保護司、更生保護女性会、民生児童委員、学校、PTA、青少年健全育成推進員、育成員が連携して活動し、次世代を担う子供たちの育成を支援する。
	家庭教育学級	家庭教育力の向上のため、家庭、学校、地域が一丸となり子育てを推進する。	福岡中学校区の各学校と公民館が一带となり、気軽に語り合う、学びあう、機会をつくる。	公民館を会場として、年間3回の講演会を開催する。延べ200人以上の参加者を目指す。
	熟年ふれあい学級	毎日をより豊かに過ごすことができるよう、仲間づくりと学習する機会をつくる。	楽しみながら月1回勉強会などを開催するとともに、見聞や知識を広める研修会を年2回開催し親睦交流を更に深める。	役員主導により月1回、楽しい学習活動を企画・実践していく。
	放課後子ども教室	放課後の子どもたちによりよい文化活動を提供し、子どもたちの成長を見守る。	公民館を利用し、子どもたちが文化活動にふれ、充実した生活を送る。	公民館で、年間10回15時から17時の時間帯で実施していく。
文化	文化活動事業（文化展）	地域の文化振興と住民の文化に対する意識の高揚と技術の向上を図る。	ふくおか文化協会が主催し、文化系サークル10団体の活動の成果の発表の場、地域住民の作品展示、特別展などの場として、毎年11月の第1土曜日と日曜日に文化展を開催する。	本年も200名以上の方の出品で、2,000名以上の来場者を目指す。
	芸能活動事業（芸能祭）	地域における文化芸能を広く普及し、各団体間の交流と親睦を深める。	ふくおか文化協会に加盟している芸能系サークル12団体の活動の成果の発表の場として、毎年3月の第1日曜日に開催する。	本年も500名以上の方の来場を目指す。
	福岡文化財保護事業	地域内の文化財等の保護活動を推進する。	保護団体等の活動支援を行なう。	年2回の巡視活動の支援をしていく。
	伝統芸能保存事業 (常盤座歌舞伎保存会)	地歌舞伎の保存伝承と後継者の育成を図る。特に、子ども歌舞伎教室により子どもたちに伝承する。	常盤座を訪れる方へ歴史的建造物と地歌舞伎のPRを行う。 常盤座歌舞伎保存会が毎年3月の最終日曜日に歌舞伎定期公演子ども歌舞伎発表会を開催する。	常盤座歌舞伎保存会、常盤座棧敷会(支援団体)、歌舞伎子ども教室に積極的に支援する。 観光バスツアーで来客や問い合わせの対応を行う。
	ニッ森ふれあいクラブ活動	地域住民が主体となって、企画運営しているニッ森ふれあいクラブを更に発展させ育成する。	文化系、スポーツ系とも年間を通じて活動する当該クラブの支援と、子ども夏祭りinふくおか（8月）及び体験会（2月）を開催する。	文化系2クラブ、スポーツ系12クラブが活動中。 福岡地区外の子どもたちも参加している。
スポーツ	福岡体育協会事業	体育協会をサポートすることにより、住民の健康増進とスポーツの普及を図る。	各種スポーツ大会（市体育大会・スポレク祭・バレーボール・ソフトボール）及び元旦マラソンの開催の支援を行う。	各種スポーツ団体として13クラブあり、その他の団体として5団体が活動している。
運営	図書室の充実と活用	地域図書館としての機能を充実させるとともに、利用しやすい図書室を目指す。 図書室ボランティアの育成。	利用しやすい図書室にするとともに、保育園・小学校などと連携し、利用者の増加を目指す。図書室まつりを開催し読書の普及に努める。	図書室の利用者、貸出冊数ともに、増加傾向にあり、一層の推進を図る。



## 令和2年度 公民館の重点方針・事業について

1 公民館名 蛭 川 公民館

### 2 重点方針

1. いつでも、だれでも、気軽に利用できる公民館に … 地域づくり、人づくりの拠点を目指す ☆蛭子座の積極的活用を核にして
2. 楽しく学ぶ仲間づくりと生きがいつくりの場に … 様々な学習活動・機会の企画運営と支援
3. 青少年が健全に成長できる環境づくりの取り組みを … 学校・家庭・地域の連携を推進する
4. 人と人とがふれあう仲間づくり・健康づくりの場に … 気軽に参加できる文化・スポーツ活動の企画運営と支援

重点事業	事業名	ねらい	概要	特記事項等
生涯学習	家庭教育【乳幼児学級】	親子でのふれあいを通して、子育てと仲間づくりを支援する。	月毎の学級/遊びの広場で、遊びや学びの場を通して親子のふれあい、親同士の交流を行う。	実情や要望を把握して、楽しく・役に立つ企画に努める。
	公民館講座	講座を通して、仲間づくり、生きがいつくり、地域づくりへつなげる。	地域の絆づくり、健康づくり、文化教養講座を中心に、住民の学習要求に沿った学習機会を企画運営する。	文化歴史自然散歩、脳トレ、子ども歌舞伎等、適切な時期をみて実施
	青少年健全育成活動	学校・家庭・地域の連携を通して、青少年の健全育成活動を推進する。	推進市民会議支部を中心に、PTAや地域諸団体と連携し、青少年健全育成活動の取り組みを行う。	なんでも塾支援、挨拶運動、夏祭り協力、成人を祝う会、見守り活動等
	高齢者学級【あじさい学級】	高齢者の生きがいつくり、仲間づくり、学習活動を支援する。	月毎に開催し、講演会、各種教室、軽スポーツ、地域探訪、研修旅行等を実施する。	マレット、陶芸、ボランティア、健康体操、寄せ植え、研修視察等の計画、実施
	なんでも塾【小学生対象】	様々な体験、学習、交流を通して、子ども達の健全な成長を支援する。	地域講師から、茶道、華道、着付、将棋、習字、スポーツ、ホタル・星空観察、釣り等を学ぶ。	定期塾（月毎）、随時塾（テーマ毎に1～2回）を開講
文化	文化・芸能活動支援	蛭子座(公民館ホール)の活用を通して、文化・芸能活動の向上を図る。	文化協会主催の芸能祭（6月）・文化展（11月）は今年度中止 歌舞伎保存会等の自主発表等に協力する。	蛭子座の積極的な活用を目指す「蛭子座友の会」との連携。
	郷土資料保存伝承	文化財や遺産等の保護と後世への継承及び公開と活用を図る。	郷土資料館保存資料のデータベース化およびデジタルデータ化とその活用を進めていく。	資料館の学校教育での活用と焦点化した資料公開。
スポーツ	スポーツ大会 スポーツ教室 健康づくり	様々なスポーツ活動の機会を通して健康づくりや地域の交流を図る。	体育協会・なんじゃもんじゃクラブ、体育委員会と連携し地域スポーツやレクリエーションの運営を支援する。	新型コロナウイルス拡大の状況をみながら各種イベントに関する実施の判断に応じ、諸団体と連携していく。
運営	公民館運営委員会	地域の生涯学習としての拠点としての公民館づくりの改善を進める。	公民館の活用について地域からの声を把握し利便性を図っていく。	地域づくりの観点で、運営委員会による評価を実施する。